



令和3年1月7日(木)～8日(木)

就労継続支援B型事業所  
ひまわりの家(幕別町)

就労継続支援B型・A型事業所  
株式会社しんかーず(帯広市)

就労継続支援B型事業所  
大作(帯広市)

就労継続支援B型事業所  
スタイルとかち(帯広市)

## 社会福祉法人ひまわり

### 障がい福祉サービス事業所 就労継続支援B型 ひまわりの家(B型)

授産施設、NPO法人を経て、現在社会福祉法人として運営されている障がい福祉サービス事業所ひまわりの家へ訪問しました。

訪問時には作業活動の風景を拝見させて頂き、皆さんが集中して取り組む様子を伺いました。休憩時にはおしゃべりの輪が出来和気あいあいとした場面もあるとのこと、仕事と休憩のメリハリをつけ、楽しみながら活動をされているようでした。事業所へは主に町内の方の利用が多いとのことですが、年齢や障がい特性が偏ることなく、幅広く様々な方が通所されているようです。その中で、個人の有する力や適性を活かした作業配分等を調整されており、一般就労を目指す方においては、町内の実習事業等も活用しながら、段階的な活動を進められているとのことでした。

また、数年前から役場内の売店を町内の他2事業所と共同で運営しており、そのきっかけから、他事業所との日々の情報交換の機会に繋がっているとお話も伺うことが出来ました。



所長の島さんにご対応いただきました。

## 株式会社 しんかーず

### しんかーずランチ(A型)、えーる・わーぷる(B型)

就労継続支援A型・B型の他に、就労移行支援と自立訓練、グループホームなど、幅広く障がい福祉サービス事業を行っている株式会社しんかーずに訪問しました。

しんかーずでは、“働く”ということに重きをおいた事業所運営をされているそうです。職員からの指示を受けて動くようなトップダウン形式の対応をせず、利用されている方たちが作り出す環境や雰囲気の中で相互的に影響し合い、自然と自分で考える機会が生まれるよう関わられているとのこと。特にコミュニケーションや人間関係の構築などについては、利用前には経験できなかった多様な場面が体験できるようにしたいという狙いがあるようです。

理念をもとに、利用時間の検討や活動拠点の整備などの新しい展開にもチャレンジされているというお話を聞かせていただきました。



代表取締役の油谷さんにご対応いただきました。

## 株式会社 大作

### 障がい福祉サービス事業所 就労継続支援B型事業所 大作(B型)

前身のNPO法人から運営が始まり、約5年前に株式会社に移行した、大作へ訪問しました。活動内容としては、リサイクルショップ運営の他に、複数の企業から委託作業(清掃、食品加工、農作業)を請け負い、多様な作業活動を行われているとのことですが、通年で安定した作業量が見込める一方で、納期に追われてしまう現状もあるようです。さらに近年では利用者の高齢化などから、今まで以上に個人に合わせた作業内容の調整が必要となり、市内・外の他福祉サービス事業所へ協力を求め、現在は大作が中心となって4つの福祉サービス事業所が連携して委託作業を請け負っているとのことでした。今後も委託作業を共同で担っていただける事業所を探しているそうで、多くの企業や他の福祉サービス事業所とのつながりが感じられた訪問でした。



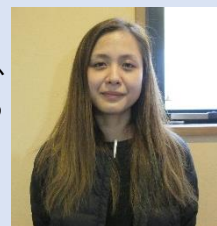
管理者の高橋さんにご対応いただきました。

## 株式会社 STYLE

### 多機能型障がい者就労支援事業所 スタイルとかち（B型）

スタイルとかちでは、平成 26 年の開設当初から利用継続されている方が多く、その中で近年では約 8 割の方が 50～60 代となり、高齢化の傾向が見られているようです。現在通われている方は、元々ひきこもりの方であったり、まずは外に出て活動を楽しむことが目標となる方が多いとの話もあり、一般就労等のステップアップを目指すことよりも、現状の継続を目的に利用されている方が大半となっているようでした。

活動内容は、主にお弁当製造とウォーターサーバー機械の洗浄とのことですが、そこに付随し、個別の状況に合わせた軽作業や創作活動を組み合わせながら日々行われているようです。また、事業所運営をしていく上で、利用者の日中活動の提供に関し悩まれている部分もあるとの話もあり、他の就労系福祉サービスの事業所同士でそういった部分も含めた意見交換が出来るの良いとのこと意見もありました。



管理者・サービス管理責任者の世良さんに対応いただきました。

今後も訪問を進めて参りますので、よろしくお願いいたします